（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所　オリーブ(放デイ)			
○保護者評価実施期間	R7年　1月　22日	～	R7年　2月　8日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	22	（回答者数）	15
○従業者評価実施期間	R7年　1月　22日	～	R7年　2月　8日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年　2月　15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・広々とした敷地と、多くの自然に囲まれた園庭	・多くの自然に囲まれているため、できるだけ園外で体をいっぱい使った活動や遊びを通して、季節を感じられるよう取り組んでいます。	・大型遊具導入の検討や環境維持のための環境整備等の時間の捻出。
2	・タイマーや絵カードなどの聴覚・視覚支援	・声掛けではなかなか行動に結びつけることが難しいお子様に対し、行動の切り替えがスムーズに行えるようにスケジュール表やタイマー、絵カード等を活用しています。	・既存の絵カードの加え、こどもたちの｢なぜ｣｢どうなる｣等の疑問に応じた、見通しが立てやすくなるような視覚支援の拡充。
3	・季節ごとの園外活動の実施	・桜やあじさい等、四季に合わせた園外活動を実施し、日中の生活と自由な時間のメリハリをつけ、余暇活動を有意義にすることで、心と体を健康に保つことに努めています。	・園内でのさらなる安心・安全な活動に努め、園外活動の機会の充実に繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・給食に対する取り組み	・偏食や食わず嫌いのお子様に対しての支援の徹底	・配膳時にあらかじめ量を調整し、チャレンジを促すことで完食につなげられるようにする取り組みや、重度の偏食のお子様に対する個別支援の拡充。
2			
3			